

ミャンマークーデターから3年

岸田政権、防衛省は独裁軍の虐殺に加担するな！

2・1ミャンマー連帯デモ

- ▷ 2月1日（木）18：30開会
- ▷ 新宿区戸塚地域センター（高田馬場駅下車）
- ▷ 集会後、早稲田通りをデモ行進

▼クーデターから3年となる2月1日を前にミャンマーでは、ミャンマー軍に対し、昨年10月27日に国民統一政府と諸民族が軍事作戦をもって蜂起し、以来今日まで攻勢的な解放戦争が続けられています。ミャンマー軍から兵士の脱走・投降が続出している。

▼戦闘激化の中で、日本政府・外務省は、昨年11月29日、ミャンマーの危険レベル引き上げ渡航中止を呼びかけたが、「ミャンマー国民和解担当日本政府代表」と称する日本財団・笹川陽平が首都ネピ

ドーに入り、独裁軍高官と会談している。さらに、岸田は、ミャンマー在住の日本人、日系人への年頭のあいさつで、ウクライナ、中東情勢には言及しながら、ミャンマー軍による焼き討ち、虐殺には一言も触れなかった。岸田は、ミャンマーが独裁軍によって平定され、日本の中国侵略戦争の前線基地となることを望んでいる。自衛隊へのミャンマー軍兵士の留学受け入れも新規受け入れは停止したが、今も自衛隊での訓練を継続している。

▼クーデターから3年、不服従運動（CDM）が根強く続けられている。ミャンマーの約60大学28万人の学生のうち、今も80%以上の学生が、戦場に身を置き、ミャンマー軍と戦い続けている。パレスチナの労働者人民から、日本から武器がイスラエルに届かないようにしてほしいと呼びかけられた。ミャンマー、ウクライナにも、日本からの武器が届かないように、日本の労働者による力ある闘いが求められている。

闘う在日ミャンマー人労働者、学生とともにクーデター軍によるミャンマー人民虐殺を弾劾するとともに、ミャンマー独裁軍を支える岸田政権打倒へ、高田馬場をデモしましょう！ ミャンマーの`春の革命、勝利のために声を上げましょう！



主催：ミャンマー連帯行動実行委員会

改憲・戦争阻止！大行進／入管法と民族差別を撃つ全国実行委員会
東京都港区新橋2丁目8-16石田ビル4会 Tel090-1258-6201